

議会議案第4号

特別支援学級の増設を求めることに関する決議について

特別支援学級の増設を求めることに関し、次のとおり決議する。

平成22年9月24日提出

提出者	鎌倉市議会議員	石川敦子
賛成者	同 上	小田嶋敏浩
	同 上	早稲田夕季
	同 上	中村聡一郎
	同 上	前川綾子
	同 上	大石和久

特別支援学級の増設を求めることに関する決議

全国の特別支援学級の設置率は、平成20年5月1日現在、小学校で66.7%、中学校で64.9%となっている。しかしながら、鎌倉市における設置率は、小学校が16校中7校で43.7%、中学校が9校中4校で44.4%といずれも全国平均を大きく下回っているところである。

障害児は、健常児との交流の中で、生活習慣を学び、友達と触れ合う喜びを知り、卒業後は自分に対して理解のある地域の中で居場所を見つけ、安心して生活していくことができるようになる。すなわち、障害者と健常者とが、お互いに区別されることなく、当たり前社会生活をともにできる町を整備していくことこそ、ノーマライゼーションのまちづくりの原点であると確信するものである。

そのためには、障害児がそれぞれの地元の学校に通うことが、地域参加の第一歩であるが、特別支援学級が設置されていない学区がある鎌倉市の現状は、残念ながらノーマライゼーションの理念と相反するものであると言わざるを得ない。

よって本議会は、市教育委員会に対し財政が厳しい状況ではあるが、特別支援学級の全校配置を速やかに実施できるよう要望するものである。

以上、決議する。

平成22年9月24日

鎌 倉 市 議 会

